

学部・研究科等の現況調査表

教 育

平成22年6月

国立大学法人
東京工業大学

目 次

9. イノベーションマネジメント研究科	9-1
---------------------	-----

9. イノベーションマネジメント 研究科

Ⅱ	分析項目ごとの水準の判断・・・・・・・・	9－2
	分析項目Ⅴ 進路・就職の状況・・・・	9－2

Ⅱ 分析項目ごとの水準の判断

分析項目Ⅴ 進路・就職の状況

(1) 観点ごとの分析

観点 関係者からの評価

(観点に係る状況)

本研究科では、学習を通じて身に付けた資質・能力に関するアンケート調査を研究科独自に専攻ごとに実施している。

平成 21 年 3 月及び平成 22 年 3 月に専門職学位課程技術経営専攻及び博士後期課程イノベーション専攻修了生を対象にアンケートを実施した結果、学業の成果に関する項目について、本研究科には確固たる学習目標をもった学生が集まり、本研究科における教育・研究を通してその目標を達成しており、教育内容を理解し、満足していることが伺える。また、社会からの評価に関する項目についても、ほとんどの項目について評価が高く、全体として修了生からの評価は高いことが分かった。

(資料 5-1: 修了生アンケート) 出典: 研究科作成資料

学業の成果に関するアンケート項目	技術経営専攻		イノベーション専攻	
	H21. 3	H22. 3	H21. 3 H21. 9 H22. 3	H21. 9 H22. 3
「大学で学ぶべきに目標を入学時点ではっきり持っていたか」	3. 2	3. 3	3. 8	3. 5
「入学時点での全般的な学習目標は、現在ほぼ達成できたか」	3. 2	3. 2	4. 0	3. 5
「本学の学習を通じて身についたと思うか: 専門分野の研究能力」	2. 9	3. 0	4. 0	3. 5
「 〃 : 幅広い視野を持った研究能力」	3. 2	3. 2	4. 0	3. 0
「 〃 : 社会で役に立つ実用的な知識」	3. 4	3. 1	-	-
「 〃 : 課題発見・解決能力」	2. 9	3. 4	3. 8	3. 5
「教育内容についての理解度: 一般教育や科学技術全般に関する授業科目に対する理解度」	2. 9	3. 2	-	-
「 〃 満足度: 一般教育や科学技術全般に関する授業科目に対する満足度」	2. 8	3. 1	-	-
「教育内容についての理解度: 専門分野に対する理解度」	3. 0	3. 3	4. 0	4. 0
「 〃 満足度: 専門分野に対する満足度」	3. 3	3. 5	3. 5	4. 0

社会からの評価に関するアンケート項目	技術経営専攻		イノベーション専攻	
	H21. 3	H22. 3	H21. 3 H21. 9 H22. 3	H21. 9 H22. 3
本学は社会的に高く評価されている	3. 4	3. 5	4. 0	3. 5
本学の教育研究水準はかなり高い	3. 1	3. 5	3. 8	4. 0
学生のサークル活動は、社会で広く知られている	1. 9	2. 4	2. 5	2. 5
本学は教育研究を通して社会に貢献している	3. 1	3. 2	3. 8	3. 5
本学の修了生の多くは社会的に活躍している	3. 3	4. 1	3. 8	4. 0

※ 4 段階評価 (4 「そう思う」、3 「いくらかそう思う」、2 「あまりそう思わない」、1 「そう思わない」)

※ 評価欄が「-」の項目については、専門分野の研究及び講究を中心とする博士後期課程イノベーション専攻の特性によりアンケート項目なし

また、平成 21 年 3 月には、上記の修了生アンケートと併せて「修了生の家族に対するアンケート調査」を実施した。サンプル数は少ないものの、「本学における学習について、全般に満足のいく成果が得られたと思いますか」や「入学時の期待感は達成されたと思いますか」という設問に対し、「そう思う」という高い評価の回答を得た。

さらに、平成 22 年 3 月には、企業からの評価を調査するため、新たにイノベーション専攻の修了生について、入学時点と修了後 2 年を経過した時点のポスト調査を行った (イノベーション専攻修了生のみを対象とした理由は、半数以上が新卒として就職をする技術経営専攻修了生では、入社 2 年程度ではポストの変化が見られないためである。また、修了後 2 年を経過した修了生を対象とした理由は、修了後の活動が評価され処遇されるために

東京工業大学イノベーションマネジメント研究科 B

は一定期間が必要と考えられるためである。)。今回、平成 19 年度に修了した 6 名について、入学時点と修了後 2 年を経過した時点のポストを調査した。調査結果から、昇任や重点業務の追加など、修了後の職務において技術経営（MOT）に関連する分野で活躍しており、イノベーション専攻で身に付けた能力が勤務先において高く評価されていることが伺える（資料 5-2）。また、継続的に技術経営専攻に社員を派遣している企業の人事担当者にアンケートを行ったところ、技術経営専攻の教育は期待以上であり、修了生は幅広い領域で活躍をしているとの回答を得た（資料 5-3）。

（資料 5-2：イノベーション専攻修了生の所属企業からの評価） 出典：研究科作成資料

A 氏	入学時	某大学イノベーションマネジメント研究科准教授（経営学の教育研究に従事）
	現時点	某大学イノベーションマネジメント研究科教授 （経営学・MOT の教育研究に従事）
B 氏	入学時	バングラディッシュ出身留学生
	現時点	英国 Cardiff 大学 Research Associate （Innovative Manufacturing Research Centre において研究に従事）
C 氏	入学時	メーカ IT 戦略企画部主査（医薬部門の IT 全般の企画に従事）
	現時点	メーカ情報システム部インフラ企画統括マネジャー （企業グループ全体に関する IT インフラの企画統括管理に従事）
D 氏	入学時	メーカ子会社情報セキュリティ研究所室長（研究に従事）
	現時点	メーカ本社 R & D 戦略推進センター技術情報分析部主幹研究員，CTO 補佐（社内外技術経営動向分析および戦略策定統括に従事）
E 氏	入学時	メーカ研究企画部部長補佐（技術渉外，技術動向調査に従事）
	現時点	メーカ人材開発部主幹（社内における MOT 研修の企画・指導に従事）
F 氏	入学時	国際特許事務所副所長（特許出願・権利化業務，調査）
	現時点	国際特許事務所副所長（特許出願・権利化業務，調査，コンサルティング）

（資料 5-3：技術経営専攻修了生の企業からの評価） 出典：研究科作成資料

質問 1：技術経営専攻の教育についてお聞かせください。	
①期待以上である ②期待通りである ③期待していたほどではない	
回答	①期待以上である
理由	担当者から中堅になるくらいの社員を派遣しているが、ゆくゆくは当社の技術部門でマネジメントを担うことを期待している社員であり、そのために必要な広い視野を培うことができている。今まで業務を通じて経験を積み、技術、技能の習得に努めてきた社員だが、それをより大きなパースペクティブの中で振り返ることで、今後のキャリアを切り開く良い機会となっている。
質問 2 修了生の活動状況についてお聞かせください。	
①活躍している ②今後の活躍を期待している ③修了後間もないため評価できない	
回答	①活躍している
理由	終了後、2 年程度、本社技術企画部で当社の技術開発全体を統括する仕事に従事するケースが通例だが、その後は、現場のマネジメント、本社内他部門など幅広い領域で力を発揮している。

（2）分析項目の水準及びその判断理由

（水準）期待される水準にある

（判断理由）

本研究科は、技術経営専攻及びイノベーション専攻修了生から「学業の成果」や「社会からの評価」について高い評価を受けており、現在所属している企業からの評価も高い。また、平成 20 年度、21 年度の両専攻の新卒就職希望者 38 名は、100% の就職率となっており製造業界や金融業界などで希望通りの就職ができている。さらに、平成 20 年度、21 年度の技術経営専攻の進学希望者のうち 4 名はイノベーション専攻に進学をしている。

以上から、期待される水準にあると判断される。